

学校でのインフルエンザ対策

ご父兄様の留意点

学校が始まり、生徒が外で過ごす時間よりインフルエンザなどの病気が移されやすいクラスルームのような限られたスペースで時間を過ごす時間が増えてきました。インフルエンザは学校のクラスルームなどの狭い空間での伝染性が高く、簡単な防止方法を実施することで風邪やインフルエンザの拡がりを遅らせることができます。

防止対策：

病気が拡がらないよう以下の防止方法を子供に教えてください。

- **手の衛生管理：**石鹸と水で手をよく洗うこと（特に咳やくしゃみをした後）を指導して下さい。手の衛生管理についての詳細は <http://www.cdc.gov/cleanhands/> をご覧になってください。
- **咳やくしゃみをする時のエチケット：**咳やくしゃみをする時にはティッシュや袖でカバーし、使用済みのティッシュはゴミ箱に捨てるよう指導して下さい。詳細は www.cdc.gov/flu/protect/covercough.htm をご覧になってください。
- **目、鼻、口などを触らない：**細菌はこれらを触ることから拡がります。
- **個人の持ち物をシェアしない：**飲み物、食べ物、鉛筆、ペンなどをシェアしないようにして下さい。
- **インフルエンザの予防接種：**The Centers for Disease control and Prevention は 6 歳から 19 歳までの子供はインフルエンザ予防接種を受けるよう呼びかけてます。主治医もしくは the Orange County Health Referral line (800-564-8448) までご連絡ください。詳細は <http://www.cdc.gov/flu/protect/children.htm> をご覧になってください。

インフルエンザになったら：

- **インフルエンザの徴候：**100 度以上の高熱、咳、喉の痛み、鼻水、鼻づまり、体の痛み、頭痛、疲労などを経験します。
- **病気の子供を学校に行かせない：**インフルエンザのような徴候があった生徒は解熱剤(ibuprofen や Tylenol など) なしで平熱になってから最低 24 時間は自宅で休養させてください。
- **病気の子供は別室で：**病気でない家族との接触をできるだけ減らすようにして下さい。

予備対策：

- **Child care:** 子供が病気になったり学校が閉鎖した場合、誰が家で子供の面倒を見るかプラン立てをする。
- 病気の子供やその兄弟の**健康状態をよく観察し**、熱があるかどうか、インフルエンザの徴候があるかどうかをチェックしてください。注意：熱があったりインフルエンザの徴候がある場合は自宅にいるようお願いします。
- 自分の子がインフルエンザから**重い病気にかかる危険性が高いかどうかを知り**、インフルエンザ流行期間の対策について主治医に相談してください。インフルエンザから重い病気になりやすい子供は 5 歳以下で、喘息や糖尿病などの持病を持っているお子さんとされています。

詳細はthe Orange County Department of Education HINI/Flu ウェブサイトのhttp://www.ocde.k12.ca.us/flu_update.aspでご覧ください。